

公的統計マイクロデータ研究コンソーシアム第 27 回運営委員会
議事録

- 1 日時 令和 5 年 11 月 28 日（火） 15 時 00 分～16 時 30 分
- 2 場所 オンライン会議（ZOOM ミーティング）
- 3 出席者 （運営委員）南委員長、伊藤副委員長、伊原委員、岡本委員、小松委員、佐藤委員、
田中委員、山形委員、山下委員
- 4 概要

(1) 第 26 回議事録の確認

第 26 回運営委員会(オンライン)の議事録について、資料 3 に沿って概略を説明し、再確認した。前回運営委員会後に既に確認済みだが、修正点等あれば事務局へ連絡いただきたい。

(2) 第 1 号議案：第 15 回評議会の開催と議題(案)について

評議会の議案について、資料 4 に沿って説明し、了承した。評議会は 2023 年 12 月 22 日に ZOOM によるオンライン開催予定。

(3) 第 2 号議案：本年度の活動報告(案)について

本年度の活動報告（案）について、資料 5 に沿って説明し、了承した。

(主な意見)

- 今年度新しい試みとして、チュートリアル講習会を開催した。1 月に 3 名の方による講義を行い、また 3 月には疑似データに基づくマイクロデータの分析演習を統数研で実施し、非常に有益な講習会が実施できた。
- 11 月 24 日に公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム 2023 を開催した。これまでに無かった研究領域からの講演もあり、参加人数は 114 名（昨年度より 10 名程度増）で非常に盛況な会となった。
- 先週のシンポジウム参加者の中にコンソーシアム個人会員はどのくらい含まれているのか、分かったら教えて欲しい。
 - 承知した。非常に重要だと思うので、確認してお伝えする。
 - 今後申し込みの際に、コンソーシアムの会員・非会員を確認するチェックボックスを付けたら良いのでは。
 - 今後、イベント申込者のうち非会員の方に対しては、後日参加のお礼と共に入会案内やコンソーシアムの概要を送付するのも良いと思われる。
- 11 月現在のコンソーシアム会員数は 106 名となっており、昨年より 5～6 人増えている。

(4) 第2号議案：次年度の活動計画(案)について

第9事業年度（令和6年1月1日～12月31日）の活動計画(案)について、資料6に沿って説明し、了承した。

(主な意見)

- 時期は未定だが、他学会との連携の話があり、何らかの共同のイベントを開催したいと考えている。また8月にはチュートリアル講習会の実施方法などを見直し、再び実習形式で開催したいと考えている。

他学会との連携イベントについての活動計画は、再度議論の上、必要なスケジュールの調整・修正等を行うようにする。

(5) 第3号議案：ウェブサイト改定について

コンソーシアムウェブサイトの改訂について、資料8に沿って説明した。メニューの変更に加えイベント・刊行物・動画のメニューをそれぞれ独立させ新しく追加した。また、活動報告・予定のページに年間活動計画を加え、これまで会員向けにのみ公開していた議事録を一般公開する形にした。後日、メニュー部分にサブメニューの表示を追加する予定。

(主な意見)

- 入会案内のページは、昨年度から各号における想定申込者の相違が複数件あったため、各会員区分の入会要件を明確化するための説明を新たに追記した。
- 入会要件の説明は、会員資格認定内規に書かれている内容か？
→ 内規の内容が切り出されていると考えていただきたいが、若干、異なる部分もある。特に3号の説明は、間口を広げるために（内規に矛盾しない範囲で）対象範囲を広めに定義している。
- 動画のページを見たいときに、迷って見つけれなかったもので、その点は改善されたと思う。
- 刊行物ページのNewsLetter一覧が若干寂しく感じる。NewsLetterの表紙をサムネイルとして表示させられるか。
→ 可能である。今後対応する。

(6) 報告事項1：公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム 2023 開催について
本年度のシンポジウム開催について、資料9のシンポジウムチラシを基に説明・報告した。

- 今後、午前中のチュートリアル3件を動画として公開する計画だが、現時点で公開する方針で良いか？

→ 公開可能。これまでと同様に似顔絵を貼り付け、音声と共有画面という形でお願いしたい。

→ 一部載せられない部分があるので、(該当部分の) 削除をお願いしたい。また前回の動画は古い情報が含まれているので(最新版公開後に) 削除をお願いしたい。

(7) 報告事項 2 : NewsLetter 第 4 号の発行について

NewsLetter 第 4 号の発行について、資料 10 を基に説明・報告した。

(8) 意見交換：他学会・他機関との連携について

他学会や他機関との連携について意見交換を行った。

- 他学会との企画セッションや他機関との共催でのワークショップやシンポジウムなどのイベントを検討中。また具体的な内容・時期については未定だが、今後話を固めていきたい。
- 他分野へ公的マイクロデータの利活用を広げていくという方向性について、ご意見があればお願いしたい。

以上